

平成30年5月 東京地区百貨店売上高概況

平成30年6月22日

I. 概況

1. 売上高総額	1,247億円余
2. 前年同月比	1.3% (4か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭1.7%(90.6%) : 非店頭-2.4%(9.4%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成30年4月対比±0店)
5. 総店舗面積	841,329㎡ (前年同月比:-0.7%)
6. 総従業員数	18,185人 (前年同月比:-1.9%)
7. 3か月移動平均値	10-12月 1.5%、11-1月 1.5%、12-2月 0.5%、 1-3月 0.1%、2-4月 0.8%、3-5月 1.0%

[参考] 平成29年5月の売上高増減率は-1.1%

【特徴】

- (1) 東京地区の5月の入店客数は7か月連続プラスの1.0%増。土曜1日減というマイナス与件をカバーする形で、都内各店の趣向を凝らした集客施策展開が奏功した。また、春先に完了した各店の改装効果も表れ、売上高は4か月連続プラスの1.3%増となり、内容的にも商品別主要5品目のうち4品目で前年をクリアした。
- (2) 雑貨は18か月連続プラスと増勢を維持。前月に続き、主要5品目で衣料品に次ぐシェアとなった。国内外ともに高伸を続ける化粧品はスキンケア関連が好調な他、一部店舗における販促イベントや新ブランド投入・売場拡張などの効果も見られた。また、高額商材では高級腕時計をはじめ、絵画、宝飾品などが動いた。
- (3) 身のまわり品は、ラグジュアリーブランドのバッグや小物をはじめ、アクセサリなど装飾品が好調で5か月連続プラス。家庭用品は、一部外商大口受注などの特需効果から3か月ぶりにプラス転換した。食料品も、物産催事や中元ギフトセンターの前倒しなどが牽引する形でプラスに転じた。
- (4) 一方、主力の衣料品については、低温多雨の天候与件から夏物需要が盛り上がり、3か月ぶりのマイナスとなった。
- (5) 6月中間段階の商況は、2.5%増(6/18)で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した: 5店、②変化なし: 7店、③減少した: 7店
- (3) 5月歳時記(GW、母の日)の売上 (同上/有効回答数13店舗)
①増加した: 3店、②変化なし: 8店、③減少した: 2店

東京地区百貨店 売上高速報 2018年05月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	124,788,949	100.0	1.3
紳士服・洋品	10,963,109	8.8	-4.8
婦人服・洋品	21,228,352	17.0	-1.9
子供服・洋品	2,614,268	2.1	-1.4
その他衣料品	2,077,324	1.7	-5.3
衣 料 品	36,883,053	29.6	-2.9
身のまわり品	18,579,742	14.9	1.9
化粧品	14,280,824	11.4	13.8
美術・宝飾・貴金属	8,967,825	7.2	7.5
その他雑貨	5,349,834	4.3	1.9
雑 貨	28,598,483	22.9	9.4
家 具	1,391,757	1.1	12.3
家 電	1,050,087	0.8	35.7
その他家庭用品	3,361,016	2.7	-6.5
家 庭 用 品	5,802,860	4.7	3.5
生 鮮 食 品	4,123,349	3.3	-1.3
菓 子	7,119,246	5.7	-0.8
惣 菜	6,166,012	4.9	-1.7
その他食料品	8,589,539	6.9	3.0
食 料 品	25,998,146	20.8	0.1
食 堂 喫 茶	2,965,101	2.4	-3.3
サ ー ビ ス	2,099,293	1.7	-7.1
そ の 他	3,862,271	3.1	-1.0

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商 品 券	2,170,510 千円	2.5
従 業 員 数	18,185 人	-1.9
店 舗 面 積	841,329 m ²	-0.7
営 業 日 数	31.0 日	前年 31.0 日

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が18か月連続、身のまわり品が5か月連続、食料品が2か月ぶり、家庭用品が3か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品が3か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が38か月連続、美術・宝飾・貴金属が13か月連続、その他雑貨が6か月連続、家電が2か月連続、その他食料品が2か月ぶり、家具が6か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	1.3	—	4か月連続プラス
紳士服・洋品	-4.8	-0.4	3か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-1.9	-0.3	3か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-1.4	0.0	4か月ぶりマイナス
その他衣料品	-5.3	-0.1	8か月連続マイナス
衣料品	-2.9	-0.9	3か月ぶりマイナス
身のまわり品	1.9	0.3	5か月連続プラス
化粧品	13.8	1.4	38か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	7.5	0.5	13か月連続プラス*
その他雑貨	1.9	0.1	6か月連続プラス*
雑貨	9.4	2.0	18か月連続プラス
家具	12.3	0.1	6か月ぶりプラス
家電	35.7	0.2	2か月連続プラス
その他家庭用品	-6.5	-0.2	14か月連続マイナス
家庭用品	3.5	0.2	3か月ぶりプラス
生鮮食品	-1.3	0.0	27か月連続マイナス*
菓子	-0.8	0.0	5か月連続マイナス*
惣菜	-1.7	-0.1	5か月連続マイナス*
その他食料品	3.0	0.2	2か月ぶりプラス*
食料品	0.1	0.0	2か月ぶりプラス
食堂喫茶	-3.3	-0.1	9か月連続マイナス
サービス	-7.1	-0.1	2か月連続マイナス
その他	-1.0	0.0	5か月連続マイナス
商品券	2.5	0.0	2か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>